

平成28年度第4回中原区区民会議

日時 平成29年3月23日（木）14：30～

場所 中原区役所5階 503会議室

午後 2 時30分 開 会

1 開会

司会 それでは、定刻を過ぎましたので、ただいまから第 6 期第 4 回中原区区民会議を開催いたします。

本日は、過半数の委員に御出席をいただいておりますので、川崎市区民会議条例第 6 条第 2 項の規定により、本会議が成立しておりますことを御報告申し上げます。なお、本日の会議は、会議公開条例に基づきまして公開で行われます。また、会議録を作成し、公開することとなりますので、御了承をいただきたいと思います。

本日、鈴木功士委員につきましては欠席されるとの御連絡をいただいております。また、市古参与、押本参与、松原参与、川本参与、君嶋参与、滝田参与につきましては所用により欠席との御連絡をいただいております。

それでは、鈴木中原区長より御挨拶を申し上げます。

区長 皆さん、こんにちは。中原区長の鈴木でございます。本日も大変お忙しい中、御出席いただきましてありがとうございます。また、参与の方々におかれましても、先週末まで第 1 回定例会ということで、大変お忙しかった会議の後に本日の会議に御出席いただきましたこと感謝申し上げます。

本日は今年度最後の区民会議になりまして、この間、委員の皆様には災害に強いユニバーサルなまちづくりをテーマに議論をしていただきまして、中原区役所の事業とリンクさせた、かなり具体的な提案がされていると思っております。前回の会議開始時の御挨拶のときにも述べさせていただきましたが、このテーマにつきましては川崎市の大変重要な取り組みになっておりますので、ぜひ皆様の御協力をいただきながら進めてまいりたいと思いますので、どうぞよろしく申し上げます。

また、区民会議の直接の話題ではないですけれども、今週の本市の話題といたしまして、一昨日、3月21日でしたけれども、東京2020オリンピックの英国オリンピックチームの事前キャンプとして、等々力陸上競技場と、また、補助競技場を使用するという契約を英国オリンピック委員会と締結したところでございます。日吉にあります慶應義塾大学のキャンパスで契約締結の式がございましたので、私もそこへ行ってきたところでございます。

また、その締結式に参加していました福田市長からも、今回の取り組みを契機としてスポーツのまち・かわさきをより一層推進していきたいということをお話しいただいたところでございまして、この中原区がその中で中心的な役割を担っていくことになると思います。2020、もう目前でございまして、今後もまたそれらにつきましても皆様にお力添えをいただいで進めていきたいと思っておりますので、この場をかりてお願いしたいと思います。

また若干契約の話をもつさせていただきますけれども、大切なことは、そうやって海外のアスリートが来て、地域の小学校ですとか中学校を含めて、いろんなところで指導していただくというようなことが大変大切でございます。この間、1年近くかけて契約の内容を取りまとめるといったプロセスにつきましても、そういった活動の調整に時間がかかっていたと伺っておりますが、無事に契約を結んだことで、中原に限るわけではありませんけれども、川崎市全体でそこはされていくものと思っておりますので、オリンピック・また、それとあわせてパラリンピックという取り組みをしていきたいと考えておりますので、また皆様からも御意見を頂戴しながら進めてまいりたいと考えておりますので、あわせてお願いしたいと存じます。

本日も大変限られた時間ですけれども、どうぞよろしく願いいたします。

簡単ですけれども、御挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしく願いいたします。

司会 続きまして、事務局より本日の資料の確認をさせていただきます。

事務局 では、事務局より本日の資料について確認をさせていただきたいと思っております。

まず、次第でございます。次第は左上にホチキスで止めてありまして、後ろに別添1として座席表、別添2として名簿がついているかと思っております。続いて、資料1はA3横の横長の資料になっております。続きまして、資料2はA4縦になっておりまして、左側にホチキス止めされているものになっております。続きまして、資料3はA4の1枚物でございます。続きまして、資料4としてA3横の資料がついているかと思っております。残りは参考資料でございます。参考資料1、2としまして、これまでの課題調査部会の会議録をつけさせていただいております。本来、資料3として前回行わせていただきました運営部会の会議録を添付する予定だったんですけれども、済みません、ちょっと間に合わなくて、今回は省略をさせていただいております。その後、資料4はA4の横になっておりまして、スケジュールを添付させていただいております。その後引き続き参考資料といたしまして、先日作成しました「なかはら区民会議だより」の最新号、あと、前回の第5期の中原区区民会議の中間報告書、あと、「川崎市に大地震が起きた日」という冊子を参考でつけさせていただいているのと、あと、もう1点、橋本副委員長からの情報提供で、ひとみ座寄席の色紙のチラシを添付させていただいております。

資料については以上でございます。

司会 以上で資料について確認をさせていただきました。よろしいでしょうか。

それでは、ここからの進行につきましては成田委員長にお任せをしたいと存じます。どうぞよろしく願いいたします。

2 会議録確認委員の選任

成田委員長 それでは、ここからの議事は私が進行を務めさせていただきます。よろしく

お願いいたします。

いよいよ桜の時期ということで、3月21日、つい2日前ですが、東京でソメイヨシノの
開花宣言がありまして、きょう横浜でも開花宣言の予定ということなんですけれども、ま
だちょっと身近なところでは花の姿は見られないというきょうです。

本当に年度末の多忙な時期に皆様方、お集まりくださりまして大変ありがとうございます。
ただいまより始めさせていただきたいと思います。

まず、会議録確認委員の選任をいたします。前回、梅原委員、小野山委員をお願いいた
しましたので、名簿の順番で恐縮ですが、今回は梶川委員をお願いしたいと思います。よ
ろしくお願いいたします。

3 議事進行

成田委員長 それでは、議題の審議を進めてまいりたいと思います。

まず初めに、議案の1つ目であります第3回及び第4回課題調査部会の報告、続けて第
3回運営部会の報告を受けまして、それから、2つ目の審議の議案であります審議テーマ
「災害に強い、ユニバーサルなまちづくり」に向けた取り組みの審議経過について議論し
たいと思います。

まず、課題調査部会におきまして、2月16日と2月22日の2回にわたり審議テーマ「災
害に強い、ユニバーサルなまちづくり」における課題解決に向けた取り組みについて熱心
に議論していただきました。

それでは、課題調査部会の審議結果につきまして課題調査部会副会長であります井上
副委員長に御報告をお願いしたいと思います。よろしくをお願いいたします。

井上副委員長 それでは、2月16日、木曜日と22日、水曜日に行われました第3回、第4
回の課題調査部会の報告になります。

2回の課題調査部会では第3回の全体会議などにおける議員の意見や提案の整理を行っ
ております。課題調査部会で議論が多かった内容を中心に、きょうは報告します。

それでは、資料2を皆さんごらんください。

こちらはA4の縦のものが何枚か連なっているかと思うんですが、こちらは区民会議か
らの提案を1から7に分類して、解決したい地域課題から課題解決の方向性、提案の内
容、今後の検討課題、担い手のパートに分けて審議をしています。例えば提案I-①がご
ざいますけれども、一番初めのページです。

体験型防災訓練・イベント+防災訓練の推進につきましては、提案の内容として、①川
崎フロンターレ親子サッカードリーム教室の場を活用した取り組みです。こちらは、例え
ばイベントの中に幾つか防災のブースを設けてスタンプラリー形式にして全部回って
いただくとか、あとは車椅子を活用したアトラクションなどというような提案がありま
した。③になるんですが、中原区の総合防災訓練の場を活用した取り組みにつきまして

は、まだ中原区の総合防災訓練の内容が決まっておりませんが、区民会議での内容を中原区の総合防災訓練のところに反映できるように事務局を通じて整理してまいりますということで話が進んでおります。

それと、提案Ⅰ－②、次のページになります。避難所運営ゲーム（HUG）等の実施推進につきましては、避難所開設運営訓練に参加できない方や初心者の方などには、このHUGを経験してもらうのが効果的という提案がありました。実際に経験した委員の方からも、避難所運営に効果的といった意見もありましたので、このHUGキットにつきましては中原区役所の危機管理担当が貸し出しを行っておりますので、各地区での防災訓練などに利用ができます。また、HUGの前段階としてクロスワードの経験もHUGや避難所運営に効果的という御提案もございました。

続きまして、次のページです。こちらは提案Ⅱとしまして中原区総合防災マップづくりでございます。こちらは提案内容、書き込み可能な地図を入れたりですか、文字を少なくしてイラストを用いる、使いやすさ、持ち出しやすさを考慮しなどの意見がありました。これらの提案は事務局を通じて調整していきますということでございます。

続きまして、提案Ⅵです。ページが幾つか飛んでしまうんですが、安否確認・避難所運営に資する資料の製作と活用につきましては、無事ですカードというものを中原総合防災マップの中に入れることはできないかといった提案や、実際に使うことを想定して素材や色などについて提案がございました。こういった幾つかの提案の中でもいろいろと御意見等がございましたので、今後調整を進めていくという段階でございます。

以上で課題調査部会の審議の報告を終わります。

成田委員長 どうもありがとうございました。

課題調査部会の審議結果につきまして、ただいま御報告いただきました。

続きまして、3月9日に開催いたしました第3回運営部会の審議内容につきまして、運営部会副会長であります橋本副委員長に御報告いただきたいと思います。

それでは、よろしくお願いたします。

橋本副委員長 それでは、第3回の運営部会について報告をさせていただきます。

最初に、課題調査部会の審議経過を課題調査部会長の井上委員から報告をしていただき、調査内容を確認させていただきました。

運営部会では課題調査部会での審議内容を踏まえまして、具体的な課題や取り組みなどについての議論を行いました。この中で、中間報告に向けて提案の方向性についてどのように区民会議で審議していただくかということ、まず検討いたしました。主な意見につきましては、課題調査部会からの報告提案が今、資料2にまとめられておりますが、その方向性で取り組みを進めていくという結論になりました。

また、区民会議では2つ目のテーマについてもどうするか、これも議題に挙がりました。テーマについては特に具体的な議論はありませんでしたが、本日の議題にも載せさせ

ていただいておりますように、後期テーマを決めるということを確認させていただきました。

本日は「災害に強い、ユニバーサルなまちづくり」の取り組み提案内容を決定していただくとともに、次の2つ目のテーマについて今後の運営部会等につながる意見をいただきたいと考えております。

この後は私の個人的な意見なのですが、私も区民会議は3期やっているのですが、2つ目のテーマについては、ちょうど区民報告会が年度末ぐらいになるので、1つ目のテーマをやっていると、残りの時間がどうしても日数が短くて、審議が十分尽くされないまま終わってしまうというのが今までの例でした。そんなようなことから、今回審議テーマについてはいろいろ検討させていただいた、こういった資料の中から2つ目のテーマを選ぶというようなことも1つの方法かなと私は個人的に思っております。

私からの説明と個人的な意見と、両方あわせて説明させていただきました。

成田委員長 どうもありがとうございました。

今回のテーマですが、本当に防災について無知・無関心層の働きかけから、既に活動をしている層の方たちへのスキルアップ、人材育成、また、情報弱者や外国籍区民への支援といったように対象の範囲が非常に大きく、本当に課題調査部会、運営部会の両部会では幅広い審議をしていただきまして、その審議経過として、この会議でただいま報告させていただきました。

今回の資料内容につきましては、事務局と調整しながら取り組み案の最終まとめをしていきたいと思っておりますが、ここまで資料2を参考に、今後の課題調査部会におけます審議の方向性や視点につきましては、委員の皆様方からここで御意見をいただきたいと思っております。大体20分程度を予定させていただきたいと思っておりますので、ぜひ御意見、御質問などお願いいたします。

まず、どなたかいらっしゃいますでしょうか。

それでは、私から、まず運営部会、課題調査部会の委員の方以外から順番にお聞きしていきたいと思っております。

最初で申しわけありませんが、山崎委員、お願いできないでしょうか。

山崎委員 ありがとうございます。会議録を読ませていただいても、こちらの資料2にまとまっているような課題がきちんと話し合われていることに大変感謝申し上げたいと思っています。

体験型については、フロンターレの親子サッカードリーム教室ですごく具体的な可能性が見えていて、これが実現できるようになればいいなと思っておりますが、非常食のところなどについては私たちの団体も少しお手伝いができるかなと思っておりますので、お声かけいただければいいかなとは思いました。

それから、避難所の運営ゲーム（HUG）なんですけれども、これはまだどういうとこ

ろでやるとかということは具体的にはお話がないと思ってもよろしいのでしょうか。もしこれをやったことがある方がいらっしゃるようでしたら、ちょっとお話をお聞きできればなと思いました。

それから、マップなどは今までもたくさん川崎市から出ているものは見ているんですけども、なかなか一回見ると、ううん、これ、いつ使うかなと思いがらとか、入っているんです。うちも。だから、大きさなどについてもとても御審議いただいているようなんですけども、ちょっといつでも見られるところが何か、市民の皆さんにいつでも見られるところに置けるというような、そんなメッセージが少し入るといいなと思っていて、例えばお年寄りの方には電話機のところに、オレオレ詐欺の、ああいうものを張れるようになっていたりとか、すぐ玄関のところにこれを置いておきましょうとか、そういう御指示があったりすると結構皆さんそのとおりになされている状況もあるようなので、ぜひ防災についてもそのようなものになってくれるといいなと思っています。

それから、カードについては、前回私もお願いした無事ですカードですね。あっ、この方は無事なんだと思うだけでも何かほっとして、あっ、ここにいらっしゃるんだなと思えるような、そういうものになると思いますので、実現ができるといいなと思っております。

ありがとうございます。

成田委員長 ありがとうございます。

今、HUGについてお聞きしたいという御意見でしたが、HUGについては伊藤委員が御説明していただければありがたいかと思いますが、簡単に御説明していただいてよろしいですか。

伊藤委員 うちの町会では町会でいたしています。これは小学校、中学校区とかという、その中の避難所運営の1つなんですけれども、そこをどういうふうに仕切っていくかということとして、HUGにカードがございまして、いろいろなことが書いてあるんです。家族構成とか、どういう方が避難してきたかと。それを避難所でどういうふうに仕分けしていくかというゲームになります。簡単に申し上げますと、それがいろいろなテーマが、だんだん、最初は簡単な家族が来るんです。回を重ねていきますと、どういうふうに処置していかわからなくなる団体が出てきたり、いわゆるバスなんかで団体の方たちが、ここから行けなくなってきまして大量に来た人たちをどこに避難させましょうとか、あと、持病を持っている患者さんがたくさん多く来てしまうと、そこに入れるお部屋とか、いろいろ考えることがいっぱい出てきてしまう。風邪を引いている方たちと一緒にお年寄りを置けないとか、どういうふうに仕分けをするかということがとてもテーマなんです。

学校をどの程度使えるか。理科室なんかは危なくて使えませんよね。それとか、調理室なんかもあるんですけども、誰でも入っては困りますとか、そういうことも考えなければいけないので、まずは体育館のところに避難してきた方たちをどんどん入れていってし

まうと、今度は仕分けができなくなってしまうんです。まず通路をつくること、そして入ってきた方には必ず移動していただけることを言わなければいけないとか、そういう知恵がだんだん出てくるゲームです。

ぜひ区民会議の皆さんも、この席でも結構ですから、一度やってみてください。時間はちょっとかかりますけれども。うちの町会で、2時間ぐらいですけれども、足りません。ただ、町会でHUGをしたいからと言って呼びかけても、全体に出てきてくださる方が非常に少ないんですよ。ですから、理事会とかという、大勢が一番集まる時期に毎年していこうかなと思っているんですけれども、DIGとHUGとあるんです。DIGというのは自分の家からどういうふうにして避難所まで行くかという道の話なんですけれども、そういうゲームもございますから、終わるまでに、もう前期で終わるかもしれませんが、一度区民会議の間にやっていただきたいと思います。

ぜひ皆さん、1人1人が防災のことに関心を持っていただきたいなと思っているんです。そして、それが枝になっていくことを私は望んでいます。

成田委員長 伊藤委員、ありがとうございました。

よろしいですか。

それでは、続きまして、柳沢委員、お願いいたします。

柳沢委員 よく把握できなくて申しわけないんですけれども、商店街としても防災を取り組んでいる商店街、実は私のオズ通り商店街は震災後から防災にかなり関心を持ちまして、各店舗に防災の活動指針みたいなものを今配って、たまたまきょう私は持ってきたんですけれども、これは各お店に1枚ずつパッチしてお配りしているんですよ。これはモトスミ・オズ通り商店街の災害時の対応行動指針というんですけれども、これはもう正直言って当たり前のことしか書いていないんですけれども、この当たり前のことで、今のうちのほうでは行動しているんですけれども、災害というのは、そのときはかなり関心があって対応するんですけれども、だんだん年々風化していくことは事実ですよ。でも、うちのオズ通り商店街は、ことし震災から6年になりますけれども、かなり今でも関心を持ちまして、これはもう書いてあることは本当に当たり前のことでしょう。もうね。各店舗に携帯ラジオだとか、ろうそくなどを用意しているんですけれども、これは各店舗、皆さん関心を持って、今でもお店の中には張っています。

各自すごく関心を持ちまして、今、たまたまうちのほうの商店街は、木月小学校と毎年災害体験なんかをやっておりますけれども、こういう行動指針だとか、今、たまたまきょうもほかでやってきた、こういうアニメでやるとすごくよくわかりやすいですよ。安全ブック、これも第3集を出しているんですけれども、今、区役所の商店街の広報のところにこういう安全ブックを置いてありますので、ぜひ御関心のある方はお持ちいただければと思いますけれども、これに例えばこちらのほうに災害の避難所のところだとか、うちのほうの商店街の、木月小学校と連携してこれだけのお店が子ども110番に対応している

というような、常に商店街では関心を持って災害を今、取り組んでいますので、これはもうずっと取り組む事業だと商店街としても思っております。

これが中原区の商店全体に浸透していけばいいなと思っているんですけども、喉元過ぎるとこのままになってしまいますので、私も責任者としてその都度、防災記念日には皆様に災害についての心構えを、いつも商店街はこういうことをやっているんだぞというようなことを言っております。喉元過ぎてしまうと、もうあれなんですけれども、この気持ちを忘れずやっていきたいなと思っておりますので、よろしくお願ひします。

成田委員長 どうもありがとうございました。

そうしましたら、森委員、お願いいたします。

森委員 大変勉強になりました、私の地域では大分年寄りがふえまして、そういう方の救助をどうするのかなという話し合いもしましたけれども、民生委員さんが主になって、その地域の75歳以上とか80歳以上とか、もう動けなくなった方たちのことをピックアップして、災害時にはこういうふうに助けましょうみたいな話し合いがあります。それでもなかなか思うようにはいきませんし、備蓄品も、もう期限も切れてくるようになりましたし、だんだんとそういうものから言うと、来る来ると言ってもなかなか来ない災害というか、備えていくのもなかなか大変だなど思いながら、小学校、中学校の逃げるところから災害の避難場所みたいなものも全然わからない市民もいます。

そういう中で、どういうふうに位置づけていけばいいのかなというのは勉強になりますね。いろいろありがとうございます。お話し合いをさせていただきまして。また頑張りたいたいと思います。よろしくお願ひします。

成田委員長 ありがとうございます。

それでは、次の方で、岩崎委員、お願いできますでしょうか。

岩崎委員 こちらについてということによろしいですか。

私も、前からお話は出ていたと思うんですけども、この最初に書いてある体験型防災プログラムの導入の対象例ということで、川崎フロンターレさんとの教室をやりながら、周りとかでいろんなことを、プログラムをやるという案もいいなと思っていますし、ほかにも中原を含めてスポーツ選手を持つ企業というのも、いろいろあると思いますので、そういうところの触れ合いを通して、そこのアピールにもなると思いますので、そういうところを利用しながら、この防災ということに関心を向けてもらうきっかけをつくったり、そこで啓発するような資料を配付したりということをあわせてやっていくというのは非常にいい取り組みなのかなと思いますし、わかりやすいというのもございますし、そういう面での取り組みというものを何か、もう少し広い形で進めていけばいいのかなというのは非常に関心があるところです。

あと、もう1つ、提案Ⅵの無事ですカードを作成するというところが、これは各戸に配付したりしてということだと思っておりますけれども、実は私の住んでいるところでも、これ

をもうマンションでは実施されたりしてしまっていて、そういうふうに個別のマンションとかで実施して、そのマンションという自治会とかの中だけでやられているところもあるみたいなので、それをもう少し広げていく、項目という形で、まずもう少しできるところから進めるというのも非常にやりやすい取り組みなのかなと思いましたので、この辺が私は一番非常に共感できる場所ですし、積極的にやるべきところなのかなと感じております。

成田委員長 どうもありがとうございます。

それでは、安藤委員、お願いいたします。

安藤委員 私も同じなんですけど、フロンターレさんとのコラボといいますか、そこは防災という立場からのいい試みではないかと思っております。

それと、防災マップなんですけれども、実は、我々の周りでも今ちょっと防災、マンションの防災マップを作成しようということになっておまして、どの辺までマップをつくるのがいいのかとか、その辺が非常に課題もあるんですけれども、まず一番初めに、簡単なというのは変な言い方なんですけれども、それをやって、それをもって反応を見てから、またちょっと詳しいものをやろうという形を今やっております。この防災マップも、やはり配って、余り見ていただかないと意味がないというのはありますので、こういった形なら見ていただけるのかなというのも必要かなとは思っております。

あと、先ほどおっしゃっていた無事ですカード、無事ですカードというんですけれども、これは実は各マンションで防災訓練をやっているんですけれども、こういった試みをしているマンションもやっぱりありまして、そういったことが進んでいるマンションと、新しいマンションはまだやっていないところもあるんですけれども、こういったものも本当にすごくいい試みではないかなと思っております。

非常にいろんな議論が出ていて、すごく活発にしているというのが本当に、特に防災に関しましては、やはり関心が高いのかなということを感じました。

成田委員長 どうもありがとうございました。

今、それぞれの委員の方から御自分の所属している団体での活動を取り入れながら、区民会議の委員として地元を持ち帰っていただくような御意見をたくさんいただきました。まだちょっと時間がありますので、もう一方、二方から御意見をいただきたいかと思っておりますが、どなたか御発言されたい方はいらっしゃいますか。

それでは、課題調査部会で大変今回いろいろ御提案いただきました内田委員に、ぜひ御意見いただきたいかと思っておりますけれども。お願いします。

内田委員 ありがとうございます。

避難所開設訓練の開設した経験の中から、皆さんとの会話の中では、まだ消火訓練、避難訓練も参加されていない方もいらっしゃる中、やはり体験型というか、皆さんがそれぞれの町の中で、それをぜひ体験してほしいなというのは感じているところです。私どもの町会は開設訓練を3町会、私ども1丁目、3丁目、セイチョウという3つの町会で開設訓

練をして、役員の方が何ができるんだろうかと。この中原区の中でも75町会ある中で数件しか開設訓練をしていないというところで、暗中模索の中で始めたところがあります。

そして、スムーズにその1日の中に進めていることの中で、やはり避難所は、最近は避難所で生活するのは最悪なんだよ、やはり自宅がいいんだよというようなことが言われているきょうこのごろですが、もし避難所に来られた方々の様子を見てみると、自由時間があるんですね。その中で皆さんがどのように過ごされるかなというのがとても気になった点です。

やはり1日2日、ぐあいの悪い方、要するに身体の不自由な方もいらっしゃれば、隣の声が聞こえている中でどのように過ごされるのかなというのが気になったところ。そして、この間の課題部会するときでも、ちょうど中学生の方々がお手伝いをしたいといったところが、町会さんでは中学生の手伝うところはないよというふうにされたという話を聞いて、これが参加して避難されてきた方の1日の自由時間の中で、心のケアというのか、中学生諸君が避難された人たちと対話をするか、会話をするか、行動するか、演技するかはわかりませんが、そういうふうにつながるのではないだろうか。そう感じました。

そして、昨日、私どもの町会は今井中学校教育会議に所属していますので、今井中学校の校長先生とお話することができました。そして、その話をしたところ、今井中の前のところの中学校の校長先生をされていたときには、それを行ったんだそうです。ですから、ぜひ今度それを私ども、開設訓練するときには中学生諸君の力をかりて、何ができるか、どのようにできるか、まだ皆目見当もつきませんが、そういう方向につなげることができたらいいなと思っています。

話の原点に戻すと、等々力球場の中で1つでもゲーム形式のような形ができると、何かしてみたいなというところを感じているところがあるので、何か反映することを考えていきたいと思っています。

成田委員長 どうもありがとうございました。

時間の関係もございますので、発言はここまでとさせていただきます。

ただいまいただきました多くの御意見を踏まえまして、本日の御意見も含めて引き続き事務局と調整していきたいと思っております。

続きまして、3つ目の議題に移りたいと思います。第6期中原区区民会議中間報告書の構成等についてを審議したいと思います。

まず、事務局から資料の説明をお願いいたします。

事務局 では、また、改めて事務局から資料の説明をさせていただきたいと思います。

恐縮ですが、お手元に資料3というA4の1枚ぺらのものと、委員の皆様にお配りしております中間報告書を御用意いただければと思っております。

今年度、「災害に強い、ユニバーサルなまちづくり」ということで、本会議を初め運営部会、課題調査部会等々で議論していただいた内容を、中間報告書という形で整理させて

いただきたいと思いますと思っております、その構成案をお示しするものでございます。

まず、現物から見ていただいたほうがわかりやすいかと思っておりますので、昨年度、第5期の中間報告書をまず見ていただきたいと思いますと思うんですけれども、1枚表紙をおめくりいただきますと巻頭の委員長のお言葉がありまして、次に目次となっております。さらにめくっていただきますと、議論していただいた内容を整理しているというような構成となっております。基本的にはこれに即して今回もというふうに考えておりますけれども、具体的な構成案を資料3にまとめましたので、これで説明をさせていただきたいと思いますと思っております。

上から順番に失礼させていただきます。

まず、「はじめに」ということで、委員長からコメントをいただきまして、次に目次でございます。その後、第6期中原区区民会議審議テーマということで、今回は「災害に強い、ユニバーサルなまちづくり」ということで決まったわけですが、それに至った経緯などが今回の資料で言えば資料1みたいな形で、皆様の御意見を集約させていただきながらこのテーマに至ったところがありますので、それをもとに経過みたいなものを作成させていただきたいと思っております。

続きまして、Iとして審議テーマ（地域課題）の選定ということで、4つですね。1つ目が地域課題の抽出と検討ということで、また改めて資料として出てきますけれども、皆様から発言いただいた分野ごとの意見だとかをまとめたものを、資料4みたいなものをつけさせていただいて、さらに2番目として各委員の意見、3番目として審議テーマの決定テーマに込められた思い、狙い、4番目として審議テーマの現状、取り組み事例などという形で整理をさせていただいて、次に、II、地域課題の解決に向けた第6期中原区区民会議の提案ということで、今回のテーマであります「災害に強い、ユニバーサルなまちづくり」ということで、1つ目、課題解決に向けた取り組み案、2つ目、その他の検討内容ということで2つ目の整理をさせていただきたいと思っております。

IIIは資料編でございます。これまでいろいろ議論を重ねていただきましたので、その開催記録などを掲載させていただくとともに、皆様の名簿ですね。あと、区民会議自体のお知らせもさせていただきたいと思っております、区民会議とはというような整理も中間報告書の中に入れていきたいと思いますと思っております。

1点お知らせがございまして、今、皆様の手元にあります第5期の中間報告書は全てフルカラーできれいに印刷させていただいているものなんですけれども、今回、予算の関係もございまして、カラーは表の表紙と裏の表紙だけで、中は白黒にさせていただこうかなと思っております。

あと、もう1点、先ほど資料3の下のほうにもございますけれども、無事ですカードを、先ほどの山崎委員、岩崎委員からのお言葉もありましたけれども、何とかして入れられないかみたいな検討を運営部会でしていただきまして、こちらの中間報告書、裏表紙を

見ていただきますと、裏は奥付のみで真っ白になっていますので、ここに印刷で無事ですカードを印刷したらどうかみたいな御意見をいただいておりますので、そのような検討もさせていただきたいと思っております。

事務局からは以上でございます。

成田委員長 ありがとうございます。

モノクロというのが非常に残念であります、「災害に強い、ユニバーサルなまちづくり」ということで、提案内容の具体性もありますので、今後、区役所と連携して、新しい、いい取り組みができると思っております。

それでは、この中間報告書につきまして御意見、御質問などありましたらお願いしたいと思いますが、どなたかいらっしゃいますか。

ないようでしたら、副委員長の皆様方、ないですか。

特に御質問はないようですので、この報告書の構成案のとおりをお願いしたいと思えます。よろしくお願いたします。

なお、今回の報告書の作成につきましては、最終的な調整は委員長の私に一任していただくということよろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

成田委員長 ありがとうございます。

それでは、続きまして、4つ目の議題に移りたいと思えます。

第6期区民会議の後期の審議テーマについてを審議したいと思えます。

まず、事務局から資料の説明をお願いいたします。

事務局 たびたびで恐縮ですけれども、資料の説明をさせていただきたいと思えます。

まず、お配りしております一番最後の資料、参考資料4をお手元に御用意いただけますでしょうか。A4の横でスケジュールを示したものでございます。

こちらの一番上、「区民会議」とあるんですけれども、昨年7月から4回の区民会議をテーマ1ということで議論していただきまして、次回、テーマ2で次どうするかということをお議論いただく必要があるかなと思っております。

あわせてお配りしております資料4をお手元に御用意いただいてもよろしいでしょうか。A3サイズで横の資料でございます。

先ほど副委員長からも当初のところで御説明がありましたけれども、テーマ選定に当たってどうするかという参考になる資料を御用意させていただきました。これは実は最初のテーマを決める際に皆様からの意見聴取をさせていただいたものの整理になっているものでございます。

左側がそれぞれ分野ごとに整理をさせていただいて、例えば防災だったらこういうことを議論したらどうだというような御意見を整理させていただいたものでございます。右側が一番上が分野横断テーマ設定例となっております、分野に限らず横断的にこういうテ

ーマもどうだみたいなお話もあったかと思えます。その下は参考で、過去に区民会議の審議テーマでこういうことをやってきたねとか、子育てとか環境とかごみとかをやってきたねというようなことを整理させていただきましたもので、その下にあります取り組みという検討のポイントは、毎回お示ししているかもしれませんが、例えば中原区らしさであったり、意義、妥当性みたいなところが視点として必要だよねという整理になっております。

下段のほうになりますけれども、下から2つ目で、運営部会で御意見をいただいたところの進め方について御紹介をさせていただきたいと思えます。

まず最初に、審議テーマ①「災害に強い、ユニバーサルなまちづくり」に基づく提案の進め方としては、新たなテーマに基づく審議と並行的に進めてはどうかとか、今回の課題調査部会に参加しなかった委員や活動団体の意見や力も今後は生かしていきたい。もう1つとして、提案内容にかかわる関係者・団体と調整しながら進めていく必要があつて、必ずしも区民会議主体になる必要はない、4つ目として、実践に当たってはユニバーサルな視点を意識して取り入れていきたいというような御意見がありました。

右側、テーマ2の設定についてですけれども、1つ目は、これまで出されたテーマや課題の中から時間をかけずに絞り込む形で決められるといいねという話と、2つ目、消化不良のまま終わることがないように、早目に動き出せるようにしたいという御意見をいただいたところでございます。

一番下は、また改めてスケジュールになりますけれども、後期テーマの決定の流れということで、3月9日の運営部会で後期の進め方の意見を少し伺っております。今回の3月23日、今回でございますが、第4回区民会議にて後期の審議テーマの意見聴取をさせていただきました、さらに年度を明けて4月17日に予定されております第4回の運営部会で、運営部会としての後期審議テーマの集約をさせていただいて、第5回の区民会議にテーマの決定という形で進めさせていただきたいという流れでございます。

事務局からの資料の説明は以上でございます。

成田委員長 どうもありがとうございました。

ただいま事務局から説明がありました、平成29年度の後期後半と申しますか、2つ目の審議テーマについての皆様からのお考え、御意見をこれから聞かせていただきたいと思えます。お手元の中原区区民会議のスケジュール（案）というものが参考資料4であります、実質的には第4回の部会を踏まえた後、テーマ2について議論していただきまして、最終的には平成30年の1月の第7回会議で大体まとめということになっておりますので、テーマ1に比べまして若干範囲が狭まってくるかなという心持ちもありますが、そういったところも踏まえまして皆様方からお1人ずつ御意見をお伺いしたいと思います。

まず、どなたかトップバッターで御発言していただく方はいらっしゃいますか。

それでは、お1人ずつ私のほうから御指名させていただきますが、まず、済みません、

ちょっと飛びますが、梅原委員、お願いいたします。

梅原委員 後期のテーマを選ぶということになると、個々にあるテーマ別集計というものがありますね。その中から何を選ぼうかということになるわけですか。

成田委員長 具体的にこの中から選ぶというよりも、今回の審議テーマも踏まえまして、こちらの審議テーマを継続、発展させるのか、または検討いたしましたテーマ検討資料をもとにして新たなものを発信していきたいか。その辺のお考えということで、今はこのテーマにしようというところまでは必要ありませんので、方向性として御意見いただければと思っております。

梅原委員 急に言われても困っちゃうんだけども。やってください。

内田委員 いいですか、助っ人で。

成田委員長 では、内田委員、よろしくお願いいたします。

内田委員 一番最後の文言がまちづくりという言葉があるように、まちづくりに今まで審議している内容がどこにつながっていくのかなというのを、ふと先ほどの事務局からの話の中で、どこの言葉がまちづくりにつながるのかなと一生懸命考えたんですね。もし何かなのというのは、きょうそれを発表することができればいいんですが、自分たちのこの中原区の町なのか、はたまた皆さんのお住まいになっている町会の町なのか、あるいは、はたまたこちらにいらっしゃるマンションの方々のその中のことを町と言うのか、それがこの前につながる災害というのとまちづくりをどのように進めていくことができるのかなという、そのあたりをもうちょっとつなげられれば、いや、もうこれはこれで、もうすぐ審議ということでもいいと思うんです。それを進めていくものだと思いますが、もし並行的に進めていくというのであれば、もう少し具体的なところ、せつかく審議テーマの検討資料の中で、ごみ問題とか、子育てとか、高齢者福祉はもう言いましたね。第5期の中の表とどこが違ってきて、どこが発展して、どれが今回私どものまちづくりにつながるのかなと見ていたところ、この辺あたりにポイントがあるのかななんていう気がしているところです。

きょうはこんな提案ということで、梅原委員のピンチヒッターで。

梅原委員 済みません、アイデアがなくて申しわけないです。

先ほど言いましたように、4期、5期ありましたので、そのときにいろいろテーマを出してきて、一応高齢者という話も出たんですけども、実は、中原区って高齢者も多いんですけども、若い人も多いんですよ。だから、どこにテーマを当てるかなというところが難しいところなんだという感じなんです。そうすると、どこに焦点を当てるかというのがポイントではないかと思えますから、それを先に決めたほうがよろしいのではないかなという感じがいたしました。

成田委員長 ありがとうございます。

本当に先ほど内田委員がおっしゃっていただいたように、まちづくりという点で、どの

範囲、どこに焦点を絞るのかといったようなハードな部分と、それから、今、梅原委員がおっしゃいました、どの年代層、どの層をターゲットにするかということ、毎回これは審議の中でポイントになってくると思いますけれども、その辺も踏まえながら、また引き続き御意見いただきたいと思いますので、マイクがお手元にあるというところで、小野山委員、お願いします。

小野山委員 今までの話の流れから言って、いかに関心を持ってもらうかというか、危機感というか、そういうところに焦点を当てていくと、さっきも出たように、いろんな年代の方とか、そういうところも出てくると思うんですけども、これは年代を絞るってなかなか難しいかな。本当にこの地域って出入りも激しくて、いろんな方が出たり入ったりして情報を得ぬまま出ていく方もたくさんいらっしゃるところで、できれば、例えば御近所カフェとか、人が出入り、いろんな世代の方が出入りしていけるような、そういうコミュニティというか、そういうものがあれば寄りやすいというか、もう本当になかなか難しいとは、場所的にももうなくて難しいことはわかっているんですけども、そういういろんな世代の方が出入りできる場所とかがあれば、またこれは災害とか、その危機感とかにもつながってくるのかなとか、いろんな情報を得られる場所になるのかなとか、そういうふうにも感じて、今、ちょっとマイクを持たされたんですが、まとまっていなくてごめんなさい。

でも、いかに関心を持ってもらえるかというところに焦点を当てて、もっとそこから新しい動きが出てくるのかなというのは、ちょっと今思ったところです。

成田委員長 ありがとうございます。

本当にいろいろな世代がありますけれども、それぞれの世代が抱えている課題の中で共通するものは出てくるかと思えますし、課題として身近なものとして考えているものが一番関心を持ちやすいという意味では、共通性を皆さんで探っていくって審議テーマとして決めていくという案もあるかと思えます。ありがとうございます。

それでは、梶川委員、お願いします。

梶川委員 今こちらでいろいろ話していたんですけども、余りにも幅が広くて考えがまとまらないんです。住んでいる地域によって随分差があるんですよ。やっている内容に。うちのほうは防災訓練なんて2年に一度やるぐらいか、それもやらなきゃならないからやるんだなという感じで、そんなに一生懸命やっている感じもしないんですね。ただ、町会で回ってくるからやるのかなと思って。

先ほど伊藤委員のお話のように、ああいうものを文化協会の人たちで体験してみるのがいいんじゃないかなと思って。せっかくこういう会に出てきているのでね。こういうものがあるのよって、多分私の周りの人は余り知らないと思うんですよ。ですから、そういうのも少しずつ勉強できたらいいなと思っているんですけども。

何かやっぱり考えがよくまとまらないんですけども、先ほどお話を聞いていて、あ

あ、いいなと思って聞いておりました。ぜひやっていただきたいと思います。そのときは一生懸命参加させていただきますので、よろしくお願いします。

成田委員長 ありがとうございます。

体験型の取り組みをしたいということの中で、やはり最初のテーマの継続ということでHUGの実践という部分を視野に入れてみたいという御意見ですね。ありがとうございます。

それでは、鈴木晴美委員、お願いします。

鈴木晴美委員 先ほど内田委員が、きれいなまちづくりということでお話があって、私もその辺は防災に関しても交通の歩きやすい町であったり、いろんなところにつながるなどは思っていたんです。たまたま今回、今月の14日の日にマレーシア人のお友達が来日して、静岡の実家に泊まった後に4日前からうちにホームステイしていたんですね。その彼女に、この辺を歩いてみてどうかという話を聞いたんです。たまたまゆうべ、その話から東京オリンピックがあるねと。オープニングセレモニーのチケットは取れるのとか、どうやってどこに行ったらいいのとか、いろんなことを聞かれて、あっ、海外の人のほうがかえて私たちより情報が早いんだと、何となくきのうそんなことを思ったんですね。

彼女は何回か来日しているので、うちと中原駅と、そこからどこに行くということはわかるんですけども、この辺を歩いてみて、ちょっと情報が少ないと。道沿いで、中原駅とうちだけのストレートな道であればわかりやすいけれども、そのほかのところに、例えば等々力に行ってみたくとかといっても1人だと行けないとか、行かないといけない。だから、例えばそういう人的環境の面でも、聞いたら快く答えてあげられるような人的環境であるとか、あと、表示であるとか、そういうものも中原区は区内全域で整えていけたらいいなど。まず、海外から見える方がふえるということを考えると、そういうところにそろそろ焦点を当ててもいいのかなと思ったり、それがひいてはパラリンピックも開かれるということで、バリアフリーであるとか、交通面にもつながるし、あと、防災の面でもそういう方が多いときに災害が起こらないとは言えない。そこも今回のテーマとつながるところがあるのではないかなと思います。

成田委員長 ありがとうございます。

最初の審議テーマ①にありましたようなユニバーサルなまちづくりという視点では、これから中原区の住民だけでなく、中原区に来訪される海外を含めた方という広い意味での視点というのも、ちょっと取り組みたいということで。ありがとうございました。

続きまして、田邊委員、お願いいたします。

田邊委員 私自身は今回初めて参加したのに課題調査部会、そして運営部会まで参加させていただき、いろんな面で選出母体の委員さん、それぞれ自分の背中に担って発言がすごいなというのを感じておりました。それでちょっと疲れました。私自身ももう一生懸命や

り過ぎたかなと思うくらい疲れてしまったんですね。

あともう3年、オリンピック・パラリンピック、そして市制も100周年があつという間に迫ってくるんですね。そういうものを考えてみて、この中原区の駅周辺、非常にまだまだ殺伐とした雰囲気。余りきれいではない。はっきり言うとね。緑も少ない、花も少ない、いろんな部分でそういうものが少ないなという思いがするんですよね。この区役所自体、向こうが正面なんでしょう。あちらはきれいにお花を飾ってありますが、こちらは何もなしで、入る場所すら何かもうちょっと飾りたい。飾るというよりも心に潤いが欲しいなと思って、だからもっと明るい、緑ある町、小杉周辺に住む人やお客さんがたくさん来ても、ああ、きれいだなというような思いのまちづくりをしていきたいな。

自転車も本当になくなりました。それから、ごみも大分きれいになっていますということを見ると、次はその辺で潤いのあるまちづくりを試みたいと思います。

成田委員長 ありがとうございます。

本当にハードの部分ばかりに、どうしてもとらわれますけれども、大事なのは、やっぱり心につながる部分ということで、中原区を外から見るときに、どうしても武蔵小杉の駅を起点とした半径の本当に狭い範囲でどうしても考えがちになりますが、やはり中原区全般を考えたときに、潤いのあるまちづくりというところに欠けている視点、それから、こういうところもふやしたいという視点も取り入れた、そんな話し合いをテーマの中で入れていきたいという御意見、ありがとうございます。

それでは、続きまして、関口委員、お願いいたします。

関口委員 6人の委員の方がお話にあった、こんなことを言うちょっと、私自身もちょっと迷っているのであえて申し上げますと、区民会議って区長に報告したらそれで終わりなのという感情を実はすごく今持っているんですね。今まで5期ですから10回テーマがありました。では、そのテーマはどうだったのという検証とか、そういうものはないのというのが非常に疑問に思っています。

ですから、また何かテーマを決める。何かすごい違和感を実は感じちゃっていて、どこかで言わなきゃいけないなと思いつつ、なかなか手を挙げる勇気がなくて、こういう発言で申しわけないんですけども、ちょっとそんなような気が非常にしていまして、何で区民会議の委員になっちゃったかななんて、今、非常に悩んでいるところで、申しわけありませんけれども、今そんな感じなんです。

成田委員長 ありがとうございます。

確かに第1回目からの区民会議をずっと見ていますと、やはり防災、防犯、そうした大体同じようなテーマで毎回毎回取り組んでいるということもありますし、そのたびにかかわる委員が違うということもありますが、もう1つは、その時々の中原区の時代の変化によって、同じテーマを審議するとしても少しずつ広がりが違うということで、第1回目からの数を数えますと、本当にもう10年以上たちますが、そのころの中原区での同じ、例え

ば自転車問題といったものを取り上げたときの、その当時の課題と、また今の課題が少しずつ変わってくる。それは単発的にはその年にやってしまえば、それっきりというふうに受けとめがちになるかと思いますが、ただ、長い目を見た場合、同じテーマで審議することは、時代の流れというものも、やはりそれを踏まえた方たちで、それをどんどん活性化していくという意味合いもあります。まだ後半が残っておりますので、がっかりなさらなくて、ぜひ参加していただきたいと思います。

では、中森委員、お願いいたします。

中森委員 中原区内にいろんな世代の方たち、川崎市内でもいろんな世代の方たちが暮らして、これで第6期で新しいテーマより今あるテーマをもっと詳しくいろいろ探ってみて、やっていったほうが、いろんな世代を巻き込んで話し合いができるのではないかなと、ちょっと思っていました。世代だけではなくて、いろんな方が今、川崎に住んでいるので、中原区にも住んでいるので、それで全体的に、このテーマだと全体的に取り組むことができるのではないかなと思って、このままでもっと詳しくというふうに考えています。

成田委員長 ありがとうございます。

現状のテーマをもう少し掘り下げていきたいという。

では、萩原委員、お願いいたします。

萩原委員 さっき関口委員からそういう話を聞いて、でも、毎回何かいいテーマをそれぞれ選ばれて、成果はそれぞれのときに上がっているように私は思います。成果物がきちんと出ているし、何かそれぞれの活動がそれぞれ実を結んで、一歩でも二歩でも進んできたのではないかなと私は思っております。

今回は、オリンピック・パラリンピックも含めてユニバーサルなまちづくり、今回、委員になられた方がすごく防災に強い方々が多かったので、また防災に戻してユニバーサルな視点でということでテーマを選んだので、その辺はよかったとは思いますが、ちょっとやっぱりこの間、運営部会でも言ったんですけれども、ユニバーサルなまちづくりというところが余り余り強調されずに避難所開設だとか、そういう普通の一般的な防災のほうにかなり多く割かれているので、ちょっとそこに今回のテーマに即したものを意識的に加えていったほうがいいんじゃないかなということは、この間の運営部会でも申し上げました。

後半のテーマで選ぶのであれば、やっぱりその辺に力点を置いたテーマにしたほうがいいだろうと思いました。せつかくなので、中原区でできるパラムーブメントというんですかね。全ての方にとって移動しやすかったり暮らしやすかったりする町になるためには、まちづくりとしてどんなことが中原区でできるか。ここの区民会議に参加している方は、それぞれの母体から出ている方が多いので、例えば商店街でしたら、それぞれの商店街でどんなことができるかというのをみんなで考えて、町会だったり企業だったり業界だったり、それぞれのことで中原区でできることを集めて、1つの方向に向かって少しでもみんな

なの意識を変えて、できることをおじいちゃま、おばあちゃまも移動しやすかったり、大きな荷物を抱えて来る外国人でも歩きやすかったり、どこがすごく段差があって危ないから、ここを何とかしようとか、逃げるときにはここでひっかかるとか、そういうことを、例えばみんなが防災マップをつくる时候にも、そういう視点をしっかり入れて、サインも海外の方でも見やすくするとか、ウエルカムなまちづくりにするためには、そういうふうには、住んでいる人にとっても訪れる人にとってもいい町に少しでもなればいいなど。そのために区民会議ができることは、まだまだあるんじゃないかなと思うので、関口委員の関心のあることとか、町に対する問題意識なんかもすごく生かされていくと思うので、ぜひぜひ発言をして、どんどん自分たちでもできることをやっていくのがいいことなのかなというふうには思っています。よろしく願いいたします。

成田委員長 ありがとうございます。

第1回目の区民会議のときにユニバーサルという言葉について、まず理解するところからたしか始まったのは覚えておりますけれども、やはりこのテーマの中のユニバーサルという視点について、もう少し掘り下げて深く皆さんで検討していきたいということで、ありがとうございました。

それでは、森委員、お願いいたします。

森委員 私は1年目で、本当にもう最初からわからないところに入っていますので、今までの分、子育てとか、そういうものはちょっとわからないんですけども、中原区らしさというものを一応出してみたらどうかなと思うんですよね。川崎は文化とかなんとか、いろいろ言っていますけれども、川崎のところの文化というと、文化のイベントがありますよね。あと、文化といたら何だろうなと思うくらいに、余り文化らしさというのはないと思うんですよね。

中原区はスポーツなんかは、富士通とか、フロンターレとか、いろいろありますよね。だから、そういう意味から言ってもスポーツとか、そういうものを生かして、中原区らしさみたいなものを出せたらいいなと思います。テーマに関しては、ちょっとわからないんですけれども。

成田委員長 ありがとうございます。

中原区の魅力をもう少し探してみたいという御意見ですね。

それでは、柳沢委員、お願いいたします。

柳沢委員 災害で一番やっぱり通信というかね。それが震災のときによく、携帯が繋がらないとか、ありましたよね。私は思うんですけども、今、SNSですか。ソーシャル・ネットワーク・システムがこれだけ発達しているので、今、区長がいるので、ちょっと質問したいんですけども、中原区にWi-Fiというものは張れないのですかね。Wi-Fi。

区長 Wi-Fi。

柳沢委員 中原区だけでもいいですよ。大きくすれば川崎市全体にWi-Fiを張って、誰でも災害のときにLINEでつながるとかね。今ほとんどLINEをやっているでしょう。みんなね。ですから、Wi-Fiをくまなく中原区でやって、どこでもWi-Fiができるような、そういうような、ちょっとお金はかかると思うんですけどもね。お金ぐらいあるでしょう。中原区の予算。その辺どうですかね。

区長 Wi-Fiについては川崎市全体でどうやって進めていくかという話も、この間、実はありまして、いわゆる最近で言うと、インバウンドというか、外国から来られるお客様への対応ということを考えれば、2020年のオリンピックに合わせた動きというものはあると思います。ただ、これまでのWi-Fiも幾つかやり方があって、いわゆる本当にフリー型のものでとセキュリティの問題が課題になっていたりとか、いろいろしたこともありますし、私ども中原区役所としても、小さな取り組みですけども、この3月の終わりから4月にかけては大変多くの転入者とか、それから、中原区から去っていく方も含めてなんですけれども、区役所の1階の窓口、区民課のところで大勢の方がお待ちになっているということがあって、昨年も含めて、昨年、一昨年も区役所の内部としては少し空き時間を使っていたためのWi-Fiという特別な取り組みをしたこともあります。

今、柳沢委員がおっしゃったようなことについては、そういう需要はあるという認識は十分していますので、そのニーズと、それとあと、安全性ということは改めて少し整理をしながら、市としても大きな目標の中で市全域Wi-Fiということのを位置づけがあったりしますので、そういうところと調整しながら、どういうものかはいか皆さんの御意見も聞きながらということだと思いますけれども、御指摘はそのとおりだと思っておりますので、またいろんなツールと合わせて考えていきたいと思っています。

また改めて、この区民会議の中で今、そこだけ特出しの議論というのは深くは難しいかもしれないけれども、皆さんと意見交換したいと思います。

柳沢委員 わかりました。よろしくをお願いします。

事務局 川崎市で言いますと、基本的に区役所ですとかという公共施設についてはWi-Fi対応してまして、あとは小中学校の避難所みたいなところにも、今、Wi-Fiの設備をつくっているような形になってございます。あと、市ではないんですけども、そういう公衆Wi-Fiは結構無料で使えるところがございますので、そういうところと組みまして、数は忘れてしまいましたけれども、かなりの部分でアプリをダウンロードするとWi-Fiを使えるような形で進めているところではございます。また今度、後日、その資料をまた提供させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

柳沢委員 ありがとうございます。

商店街単位でWi-Fiをつけようというところもあるんですよ。ただ、ちょっとお金がかかるものでね。その点が一番ネックになって、きょう市会議員の先生もいらっしゃるんですけども、そういう予算をつけてもらえると取り組みやすいかなと、そんなふう

に思っていますので、今後ともよろしくお願いします。

成田委員長 ありがとうございます。

本当に最初の審議テーマ①の中でも、やはり情報弱者という点で、机上のそういったITをどうやって使いこなすか、また、使いこなせない人に対してどうするかといったお話もありました。先ほどもどなたかがおっしゃいましたが、中原区は本当に区民だけではなく、ほかからやっぱり見える方もいらっしゃるということで、いざ災害ですとか非常時の際に公衆で対応できるような情報発信のものが整備できるということは、とても大切なことだと思っておりますので、貴重な御意見ありがとうございました。

それでは、山崎委員、お願いいたします。

山崎委員 審議テーマについては、私も萩原委員の御意見にとっても賛成いたします。テーマ①の実践においてはユニバーサルの視点を意識して取り入れていきたいということでまとめられて、運営部会のほうでのまとめがありますように、実践がこれからなので、ぜひこのユニバーサルな視点というのは実践の中でどのようにするかは、もうちょっと審議しながら進めていただきたいなと思いますし、それから、オリンピックがあるというようなお話の中で、国際的な取り組みは、やっぱりちょっと必要になってくるんでしょうと。行政側としても。今回のテーマも、防災マップについてはとても行政側がつくる意識がある中で、私たちの話し合いを受けとめてくださっていたので、何か達成感も私たちの中にあるので、関口委員の御不満も少しは解消されるのではないかなというような意識が私の中にはありますので、ぜひ行政とタイアップしやすいようなことをしていくとしたらいいのではないかなと思っています。

例えば、中原区のピクトグラムは本当に全部国際化されたピクトグラムになっていますとか、トイレにちゃんとピクトグラムがついていますとか、そういうふうなところから、やっぱりユニバーサルのなところも視点としてはまだまだ考えられる部分がありますので。あと、お帰りになられちゃったかな。PTAの方がおっしゃっていたような、ああいう国際的な、いろんな国の方たちが見えたときに、やっぱり足りない部分というのはもうちょっと研究して、私たちは考えていってもいいのかなと思いますので、テーマは継続でも私はいいいのではないかなと思っております。

成田委員長 ありがとうございます。

国際的な視野という点では、ちょっとまだ審議の中でも十分には尽くせた点は、まだ感じられないところもありますので、そういったところも踏まえてみたいと思っております。

それでは、机を飛びまして、安藤委員、お願いいたします。

安藤委員 テーマに関しましては非常に難しいところもあるんですけども、ここに出席されているいろんな団体からの推薦がありまして、例えば子育て、高齢者福祉とか、いろんなところでそういった団体で来られて、非常に重要なテーマというのはあると思いま

す。中原区の区民会議で話す内容という形になりますと、なかなか問題が多い中で話があるんですけども、一回防災でテーマをして、これってひとつあれなんですけれども、防災って結構深い部分があると思うので、これを継続して、防災ってやっぱり非常に重要なことでもございますし、先ほどから出ているユニバーサルな視点というものも含めて掘り下げていければと思います。

確かにオリンピック・パラリンピックが控えていることもあるので、この辺というのも非常にいいテーマではあると思うんですけども、引き続き審議のテーマとして、次のテーマ②という形で防災のほうをやるほうが私としてはいいのかなと思っております。ただ、個人的にの話をさせていただくと、今、どうしてもやっぱり自分がかかわっている部分が問題があるところを話し合ったほうがいいという意見も、どっちでも出ている可能性もあると思うんですけども、例えば私の今かかわっている部分というのは、地域活動や地域コミュニティという部分があるので、そういったことが、では、この区民会議のテーマになるのかどうかというふうな形になったときに、やはりちょっとどうなのかなという部分も、先ほどは、中原区は非常に大きいところで、この辺はこういった形で高層マンションがあったりとか、でも、そうではないところもあって、それは共通のテーマになるかという、ちょっとやっぱり難しい部分があると。ただ、防災に関しましては、もちろんいろいろな違いはあるにせよ、今後災害が起こるに当たって区としてどういうふうにやっていくかと。我々、区民会議としてどういうふうにやっていくかというような形をある程度絞られるというか、やっていけるという形になると、もうちょっとそういった形でやるべきものではないかなと思っております。

成田委員長 ありがとうございます。

安全というものをテーマに、異なる区民が共通して考えられる取り組みにしたいという御意見をいただきました。

それでは、伊藤委員、お願いいたします。

伊藤委員 私のほうも安藤委員と同じように継続審議という形で、ユニバーサルとか、本当に防災は広い範囲ですよ。奥も広い。幅も広いし奥も深いんですよ。ですから、継続審議をお願いしたいなと思ってます。

成田委員長 ありがとうございます。

それでは、岩崎委員、遅くなりましたが、お願いいたします。

岩崎委員 私も全体としては、やっぱり災害というところの課題は非常に大きいと思いますので、そんなにすぐに解決できるところというのは、なかなか難しい面も多いのかなという意味では、災害に強いまちづくりというところを継続していくというのは非常にいいかなと思ってますし、その中で、次のテーマとして、もし盛り込めるのであれば、共通の分野横断テーマの設定例のところにありますとおり、住民の交流とか世代間の交流というものが、防災というものを何かするときにも非常に必要になることなんだろうと思って

います。

結局、マンションであれ、自治会等であれ、防災、災害が起きたときには助け合いが絶対に必要になってくるということにおいては、ふだんからそういう防災も意識した交流、地域で近くの方とも交流、あるコミュニティでの交流を活性化するようなことがもっとできたほうがいいんだろうなと思っていますので、その2点というんですかね。災害というものを軸にしてコミュニティというものをもっと強くしていく取り組みが何かできればなと考えています。

成田委員長 ありがとうございます。

第1期からの継続というところで、そこに防災を通じた地域コミュニティ、世代間交流というものを盛り込みたいという御意見、ありがとうございます。

それでは、最後ですが、先ほど橋本副委員長には個人的な御意見ということでいただきましたので、井上副委員長、お願いします。

井上副委員長 聞いた皆さんの御意見も参考にさせていただいた上での発言にはなってしまうんですけども、まず、この防災というテーマを継続していくことに関しては、それでいいんじゃないかと、僕自身もそういうふうには思っています。それと、一番は、やっぱりテーマというのが「災害に強い、ユニバーサルなまちづくり」の部分の、先ほども皆さん言っていると思うんですけども、ユニバーサルという部分を、やはり次の後期のところでやっていったほうがいいのかと思います。

一番は、ちょっとこれは総括的な意見にはなってしまうとは思いますが、事実、前期のところユニバーサルの枠組みが感じられるようなことをやっているかということ、なかなかそれが感じにくい、外から見るとというのはあると思うので、よりこの区民会議というものを活性化するだとか、関心を持っていただくとかというところが、やっぱり一番初めに目についたのはテーマというものになってくると思うので、このユニバーサルな取り組み、ユニバーサルという部分に意識できるような取り組みというものは必須ではないかなと思います。

成田委員長 どうもありがとうございました。

それでは、一通り皆様方の御意見を伺いましたので、発言をここまでとさせていただきます。

今の皆様の話を総合しますと、審議テーマ①の継続、発展を希望されるという御意見がとても多かったのですが、本日のこの御意見を踏まえまして次の運営部会で議論しまして、最終的に第5回の区民会議で決定していきたいと思えます。

4 その他

成田委員長 それでは、そのほかに事務局から何か連絡事項がありますでしょうか。

事務局 では、1点だけ連絡事項をさせていただきたいと思えます。

先ほど中間報告書の話させていただいたと思いますけれども、中間報告の日程につきましては、今のところ4月6日、木曜日、午後2時からを予定させていただいております。4月6日、木曜日の午後2時からでございます。参加は基本的に委員長と副委員長で区長に提出というような提出スタイルをお願いをしたいと思っております。

事務局からは以上でございます。

成田委員長 ありがとうございます。

ただいまの件につきましては何か御質問ありますでしょうか。

ないようでしたら、以上で本日予定しておりました議事につきまして全て終了いたしました。

そのほか区民会議全般につきまして皆さんから何かありますでしょうか。

ないようですので、それでは、ここで区民会議参与の皆様一言ずついただきたいと思っております。本日の議論をお聞きいただきまして、お気づきの点などの助言をぜひお願いしたいと思っておりますが、まず初めに、重富参与、お願いいたします。

重富参与 お疲れさまでした。

人数が少ないので二言ぐらいいきたいなと思うんですけれども、きょう、すごい議論を聞いていて、何か熱くなってきたなというか、わくわくしてきています。

2つほど意見がありまして、1つ目は次回のテーマですね。おおむね皆さんの意見がきょう出たので、恐らくここからもまれて最終決定するんだろうなと思うんですけれども、個人的には、やっぱり防災について深める必要があるんだろうと思っています。その深めることの意味なんですけれども、先ほど関口委員がおっしゃられていた、区民会議のあり方としてアイデアを出して、ここまで練り上げてきたプロジェクトとは言わないですけれども、案ですね。これをやはり全て行政に丸投げするのが区民会議として、これだけの人材が集まったのにもったいないというのが個人的な思いです。

なので、ユニバーサルというアイデアが先ほど出まして、私も確かにここまで振り返ってユニバーサルという視点が余り出てこなかったなというふうには今気づかされたので、ぜひこのユニバーサルをテーマにディスカッションをさらにしていただきたいんですけれども、恐らくやっぱりディスカッション議論で終わるのはすごくもったいないと思います。この資料2でいろんな提案が出ていますので、ぜひここに結びつけていただきたいなと思っています。

次回のテーマの議論がここまで盛り上がると思わなかったので、話し合いを聞いている最中、例えば提案I-①の体験型防災訓練ですかね。これがどうも皆さんの意見の中では一番人気がありそうなかなと感じ取ったんですけれども、例えばこれとかをフロンターレさんがいれば、恐らく人は集まるだろうと。一方で、それだけに頼るのはちょっと切ないなという思いもあるので、例えばHUGは2時間から3時間ぐらいかかってしまうので、それをハーフでやるだとか、非常食を食べる、あとはいろんなアイデア、トイレ組み

立てとか、これはほとんどの大人もやったことないと思うので、すごくいいと思います。これでスタンプを集めて、そのスタンプを持っているとフロンターレの選手と何かできるとか、やっぱりフロンターレの選手の価値を高めるためにスタンプあるのというあれは必要かなと。スタンプがいっぱいあれば写真が撮れるとか、ごめんなさいね。こんな勝手なこと言っちゃって。とかというアイデアをちょっと考えていました。

ユニバーサルという視点でいくと、今、ちまたで証人喚問がはやっていますけれども、この区民会議も関係者の出席を求めることができるので、外国人会議を国際交流センターでやっていますし、そういったところで、ここの人材プラスアルファの何かアイデアをもらえるようにすれば、もっとユニバーサルな視点が深まるのかなと。

あと、これも幸いなことに、中原区には聾学校もありますから、そこでまた意見を聞いたりとかできるかなと思います。聾学校の生徒さんたちは劇をやったりできるんですね。そういうものも普通の方は知らないなので、そういった意味でどんどん中原区の素材を集めて、ぜひ、個人的には区民会議が主体となってプロジェクトチームという意識でやっていただきたいというふうに、僕は残念ながらメンバーではないのであれなんですけれども、個人的にはすごくわくわくしています。

成田委員長 ありがとうございます。

それでは、続きまして、吉岡参与、お願いいたします。

吉岡参与 きょうは大変皆さんお疲れさまでございます。

きょう重富参与も言っていましたけれども、大変私も議論をわくわくして聞かせていただきました。さまざまありますけれども、ことしから市長は市一本の総合防災訓練というものを各区独自でやったらどうかというような提案がなされていることでもありますので、また中原区らしい防災訓練を考える上で、皆さんの議論というものは大変重要になるのではないかなと思っております。

私からは、私もユニバーサルという部分については大変興味がありまして、特に車椅子トイレが非常に少ないと。高齢者で車椅子が必要になった方を介助していますと、遠くに出たくない、なぜと聞くとトイレがないからという答えが圧倒的に私の周りでは多いんですけれども、そういったことが、この区民会議の中でも少し議論になっていただくとうれしいなという思いはしております。

何はともあれ、皆さん方のこういったところでの議論が、また市の行政のほうに伝わって、大きなうねりとなっていくことを後押ししてまいりたいと思っております。これからの皆さん方の御活躍をお祈り申し上げます。きょうはありがとうございました。

成田委員長 どうもありがとうございました。

ただいいただきました各参与の御発言につきましては、今後の区民会議運営の参考にさせていただきます。

事務局から何かありますでしょうか。

事務局 またちょっと事務局から失礼をさせていただきます。

次回のスケジュールの案内だけ最後にさせていただきたいと思います。

参考資料4にも少し書いてあるんですけども、口頭で御説明をさせていただきたいと思います。

次回、第5回の区民会議本会議の日程の候補日でございますが、済みません、2日間しかございません。6月2日の金曜日、もしくは6月5日の月曜日、時間はいずれも午後の2時半からを考えております。皆様にはまた改めて後日、日程調整表を送らせていただきます。それで確認をさせていただければと思っておりますので、よろしく願いいたします。

日程だけもう1回繰り返させてください。6月2日の金曜日、もしくは6月5日の月曜日、時間はいずれも2時半からを予定しております。

事務局からは以上でございます。

成田委員長 ありがとうございます。

5 閉会

成田委員長 皆様に御協力いただきまして、円滑な議事を進めることができましたことに副委員長ともども深く感謝申し上げます。

それでは、以上をもちまして第4回中原区区民会議を閉会いたします。皆様、大変お疲れさまでした。ありがとうございます。

午後4時6分 閉 会